

平成 28 年度 2 学期終業式あいさつ

おはようございます。今年もあと 10 日あまりになりました。この 1 年を振り返って、皆さんはどんな年でしたか。

世界では、たくさんの出来事がありました。中でもリオ・オリンピックでは、たくさんの感動的な場面を見て、心に残る言葉を聞きました。私が最も印象に残っているのは、レスリングの吉田選手の涙です。すごい責任感と重圧の中での戦いだったのでしょう。他にも卓球男女団体でそろっての入賞、バドミントンでも史上初めて金メダルを獲得しました。テニスでは、錦織選手が日本人選手 96 年ぶりの表彰台と、あげていけば切りのない活躍で、たくさんの感動をもらいました。

その他、オリンピック以外では、イギリスの EU 離脱は予想外でした。アメリカ大統領選でのトランプ候補の勝利にもビックリしました。来年は世界がどのように動いていくのか期待と不安でいっぱいです。

さて、高砂南高校はどうでしょうか。行事で新しいことに挑戦し、みんなが頑張ってくれたお陰で、文化祭や体育大会で、しっかりとした成果を出すことができました。みんなの頑張る姿を、私はこれからもずっと忘れることはないと思います。

部活動にも、精一杯取り組んでくれました。皆さんを応援するのが私の生きがいのひとつです。来年が楽しみな部がいくつもあります。冬場をしっかり頑張れば、一回りも二回りも大きく成長することができます。期待しています。

生徒会に対しても、お礼を言いたいと思います。行事はもちろん、施設訪問などにも積極的に参加するなど、本当に頑張ってくれました。先日のオープンハイスクールでは、企画や進行を行ってくれました。一番驚いたのは朝早く登校して、校舎の掃除をしてくれたことです。普段手が届きにくい場所を、中学生が気持ちよく過ごせるようにと、自主的に掃除してくれたことに本当にビックリしました。オープンハイスクールが良かったので高南に行きたいという中学生もいるそうです。本当にありがとう。

ここで、私のことについて少し話をさせてください。先月の神戸マラソンに参加して感じたことです。私は高校から陸上競技部に入り、大学では十種競技に取り組みました。ほとんどの種目を経験していましたが、まだ経験のないマラソンを 1 度は走りたいと思いながら実現していませんでしたが、2 年前に初めてマラソンを走りました。今回は 2 回目です。

もっと早くから練習に取り組んでいれば良かったのですが、出場が決まった 7 月から練習を始めました。初めは 5 分走っては 5 分歩くを 3 回行うというものですが、筋肉痛になりました。8 月は夏の暑さに負けて十分な練習量を確保できませんでした。さらに、9 月の体育大会のリレーで教頭先生と 50m を分担して、25 メートルを走ろうとした時に肉離れをしてしまい、10 日以上練習ができませんでした。ようやく 10 月になって、ゆっくりですが 10km くらいは走れるようになりました。11 月には 25km が少し余裕を持って走りきることができました。

いよいよ神戸マラソンの日がやってきました。1回目の時よりも練習量は少ないのですが、練習の25kmをそんなに苦しくなく走れたので、大丈夫だろうという思いがあったのですが、マラソンはそんなに甘いものではありませんでした。練習量が少ないのは致命的で、前は35km付近まで走れたのですが、今回は18km付近から走れなくなりました。しばらく走ったら歩く、またしばらく走ったら歩くの繰り返しです。暑さもありましたが、気持ちで負けていたことが原因だと思います。しっかりと練習できた状態なら、走り続けることができたように思います。やっと中間点を過ぎた頃、もう1回同じ距離を走ると考えたなら、やめたいという気持ちが出てきました。1回目はそんなことは思いませんでした。

でも、やめたいという思いに負けず、ゴールにたどり着けたのは、沿道の応援とボランティアの方々の励ましの言葉のおかげです。沿道から参加者全員に対しての応援があります。手をさしのべてハイタッチして元気づけてくれる人もいます。知らない人でも「三谷さん、頑張れ」と言ってもらうと何百メートルかは走れます。また、ボランティアの人からお水や食べ物をもらう時に、「頑張ってください」と言ってもらえると、これも何百メートルかは走れます。

あれだけしんどくて、やめたいと思ったのですが、ゴールできた充実感は本当に大きなもので、今はまた走りたいと思っています。

いつも皆さんに、こうしてくださいと偉そうなことを言っていますが、マラソンへの挑戦から、たくさんの反省をしました。皆さんには、私がマラソンを通して大切だと思ったことを、実行してほしいと思います。

まず、しっかり目的を持って努力しないとよい結果はついてきません。「しっかりとした目的を持って、1日1日を大切に生活してください。」

あきらめたらそこで終わりです。悪い状態の中でも、最後までやり続けると、何か得るものがあります。「苦しくても、あきらめずに、目標に向かって努力し続けてください。」

そして、大会は走っている人だけでなく、周りの多くの人によって助けられ、励まされて成り立っています。その人たちに感謝しないとイケません。「皆さんの周りにいる友だち、家族、高南の先生方、小中学校の先生方、地域の人に感謝の気持ちを持って生活してください。」これらのことを意識して生活してほしいと思います。

最後に、3年生にエールを送りたいと思います。就職や公務員試験では、よく頑張りました。推薦入試は一段落つきましたが、1月にはいると、センター試験、二次試験が待っています。私大入試も本格的に始まります。あせらず、最後まであきらめしないで、試験に臨むことが大切だと思います。この3月の卒業生が、最後の最後まで頑張ったお陰で国公立大学に合格することができた学校に報告に来ていました。最後まであきらめしないで、努力し続けてください。また、体調を崩すと力を発揮できません、健康には十分に気をつけて、持てる力を出し切ってください。期待しています。

もうすぐお正月がやってきます。これからの目標を見直す良い機会です。1月10日には、目標をもって、いきいきした顔で登校してください。